

試験・成績評価

◇試験

試験は、原則として学期末の定期試験期間内に実施されますが、科目によっては、平常の成績、レポート等によってこれに替えることがあります。なお、履修登録をしていない科目の試験を受験することはできません。

また、科目の出席時間数がその総時間数の3分の2に満たない場合は、受験することができません。

◇成績の評価

成績は、「秀」「優」「良」「可」「不可」、及び「合格」「不合格」で表され、「秀」「優」「良」「可」と「合格」の場合に当該科目について所定の単位が付与されます。

◇成績評価基準

成績評価は以下の基準により行われます。

評価の名称	総合評価点
秀	100～90
優	89～80
良	79～70
可	69～60
不可	59以下

一旦評価のされた科目について、これを取り消したり再度履修してその評価を変えることはできません。

また、次のすべての要件を満たしていない場合は、成績評価・単位付与は行われません。

- ①定期試験及びその他に実施された試験を受験していること。又は科目担当教員の指示事項(レポート提出・実習試験等)が完全に満たされていること。
- ②不正行為がないこと。
- ③当該科目の出席時間数がその総時間数の3分の2を満たしていること。
- ④定められた期日までに授業料またはその他の納付金を完納していること。

◇成績通知

各学期末に出された成績の結果については、ポータルサイトにて確認できます。また、学生個人に対しては、前期・後期の履修ガイダンスのときに指導教員から直接本人に手渡されます。

◇修士論文審査 ・最終試験

修士課程修了の要件を充たす見込みが付き、修士論文等の論文審査及び最終試験を受けようとする者は、修士論文審査の申請を行わなければなりません。

申請に関する諸手続きとその日程は次に示すとおりですが、日程の詳細については研究指導教員を通じて通知します。また、論文審査の詳細については「学位規程」・「修士論文及び最終試験取扱要領」・「修士論文及び最終試験基準」を参照してください。

論文審査等日程表

() は9月修了の場合

- | | | |
|----------------------|----|--------|
| 1) 学位申請書の提出 | 1通 | 1月(7月) |
| 2) 論文要旨の提出 | 3部 | 申請書と同時 |
| 3) 学位論文の提出 | 1編 | 申請書と同時 |
| 正本1部、副本2部 | | |
| 4) 審査委員の決定 | | 1月(7月) |
| 5) 論文発表会、審査、最終試験 | | 2月(8月) |
| 6) 審査委員による結果判定 | | 2月(8月) |
| 7) 研究科委員会において学位授与者決定 | | 3月(9月) |
| 8) 学位授与者発表 | | 3月(9月) |
| 9) 大学院学位授与式 | | 3月(9月) |

修了要件・学位の取得

◇修士要件

修士課程を修了するためには、修士課程に2年以上在学し、演習科目4単位、研究科目8単位を含めて30単位以上を修得するとともに、必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査及び最終試験に合格しなければなりません。

なお、他専攻に開講される授業科目を履修し修得した単位については6単位、学部の授業科目（学部のⅢ類科目に限る）を履修し修得した単位については6単位、本学学部卒業で本学大学院科目を履修許可され修得した単位数については6単位、本学以外の他の大学院で入学前に修得した単位については15単位を上限として修了要件に算入することができます。ただし、これらの単位の合計全てが修了要件に算入される訳ではなく、20単位が上限であることを注意してください。

◇学位の取得

本大学院修士課程を修了した者については、「静岡理工科大学学位規程」の定める手続きにより、修士の学位が授与されます。修士の種類は次のとおりです。

システム工学専攻	修士（理工学または技術経営）
材 料 科 学 専 攻	修士（理工学または技術経営）

◇修了延期者

2年次末において修了要件を充たすことができない場合は、修了延期となります。なお、修了要件単位数を充足していても修士論文及び最終試験の結果が不合格の場合は、引き続き在学したうえで、再度修士論文の審査と最終試験を受けなければなりません。

◇9月修了

3月修了延期者で、前期末に修了要件を充たす見込みのある者については、前期中に論文申請を受け付け、修士論文審査及び最終試験を実施し、9月修了として学位を授与することがあります。同様に、9月修了延期者の場合は、3月修了として学位を授与することがあります。